

事務事業名	総合健診結果説明会・相談事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5206				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	健康増進課	課長名	櫻田正文				
			所属担当	健康づくり担当	担当者名	矢崎香奈				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 04	項 01	目 04	細目 020	細々目 12
政策	18	健康づくりの推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	31	保健・医療の推進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度) 年度)			法令根拠	健康増進法					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 総合健診結果を有効活用し、対象者に保健・栄養指導を実施、市民の健康意識の向上及び健康の保持・増進を図り健康に関する不安を解消。 総合健診後、結果を振り分け要指導者選定。特定保健指導者には、3ヶ月、6ヶ月後のフォローを行う。健診の結果を踏まえ、成人・高齢者の健康相談に随時対応する。 ①結果仕分け②結果通知③説明会開催、指導④訪問、電話などによるフォロー			事業費の主な内訳 ( 24年度 決算見込 ) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 消耗品費 14 印刷製本費 103 通信運搬費 1,022 計 1,139						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績 市内各地区41回(半日単位)実施。未来所者については、随時対応・追加返却日の設定・夜間サービスにおいて返却、健康相談の実施し 25年度活動予定 市内各地区41回(半日単位)実施予定。未来所者については、随時・夜間サービスにおいて返却、相談実施予定。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア:総合健診受診者数 人 イ: ウ:
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	総合健診を受診した市民 特定保健指導対象者	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア:結果説明会対象者数 人 イ: ウ:
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	健診実施後、保健指導が必要な対象者に結果説明を行うことで、疾病の早期発見、早期治療に結びつけるとともに、運動や食生活などの日常生活の改善を促すことで、より良い健康状態を保持・増進できるように促す。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア:説明会被指導者数(実人数) 人 イ:開催回数 回 ウ:健康相談被指導者数(実人数) 人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民の健康保持・増進、健康意識の向上	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア:結果説明会被指導者(延人数) 人 イ:健康相談被指導者数(延人数) 人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円			170	170	170			
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,015	1,139	1,317	1,317	1,317			
		事業費計(A)	千円	1,015	1,139	1,487	1,487	1,487	0		0
	人件費	正規職員従事人数	人	20	22	20	20	20			
		延べ業務時間	時間	1,311	1,776	1,279	1,279	1,279			
		人件費計(B)	千円	5,194	7,037	5,067	5,067	5,067	0		0
		(A)+(B)	千円	6,209	8,176	6,554	6,554	6,554	0		0
	活動指標	ア イ ウ	人	9,600.0	12,614.0						
	対象指標	ア イ ウ	人	3,800.0	4,479.0						
	成果指標	ア イ ウ	人	3,800.0	4,151.0						
		イ ウ	回	41.0	41.0						
	上位成果指標	ア イ ウ	人	3,800.0	7,312.0						
		イ ウ	人	426.0	426.0						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	老人保健法の総合健診実施に伴い事業開始。特定保健指導は、特定健診が始まった平成20年度より実施。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	疾病の早期発見、早期治療から疾病予防、そのための生活習慣改善目的へ変化。がん対策としては、依然早期発見、早期治療は継続中。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	実施時間の短縮、待ち時間の改善など。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	重複している部分の簡素化などを行い、より個人にあった内容の説明会実施を心がけている。またスタッフ配置を考えて、待ち時間の短縮を図った。事前準備においては、職員の負担がかわらないように事務的部分の簡素化を図った。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	結果振り分け作業の基準の明確化、呼出時間を細かく分割して増やすことで呼出人数が分散するよう工夫、説明会における担当スタッフの配置に考慮したこと

事務事業名	総合健診結果説明会・相談事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 現在の自身の健康レベル状況を認識し、日常生活を見直してもらおうのがこの事業の目的であり、市民の健康の保持・増進につながる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市民の健康、市の活性化につながると考えられ、妥当と考える。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市民の健康に対するニーズの充足のため必要。市民が健康でいることは医療費の抑制などにもつながり、この事業の果たす役割は大きいと考える。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 さらに効率的な方法を求めていく必要はある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 健診結果が正確に伝わらない恐れがある。受けっぱなしの健診となり、自身の健康を見直す機会にならない恐れがあり、健康の保持・増進につながらない。 同左
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ほとんど雇いあげの職員の賃金。大量の結果の仕分け、スムーズな説明会の流れを確保するためには、現状維持が必要。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状、待ち時間の短縮の要望がでてきているため、人件費の削減は事業の質の低下につながると思われる。結果説明会の回数及び対象人数も多いため、外部委託も困難な状況である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 前進事業である総合健診の受診時に個別に費用徴収しており、公平性はある。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	健診結果の結果説明、健康相談は必要不可欠な事業である。今後は要精検者の受診率向上に結びつくような説明等を行う必要がある。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ① 説明時間、説明内容、担当職員の配置など検討が必要。 ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① ② ③	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑤	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑤																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					